

設計支援委員会結果報告書

平成16年2月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>岡山市立岡山中央中学校校舎増築工事 (学校施設開放エリアにおいて多目的便所、エレベーター、視覚障害者誘導、階段注意喚起床材及び手摺りの設置。)</p>
<p>設計支援委員からの意見</p>	<p>具体化の結果・状況</p>
<p><視覚障害者を誘導する装置について> (注意喚起用・誘導用床材) ・道路から建物出入口までの誘導は、将来的に工事ヤードとなり、すぐに敷設し直しになるが、仮設でよいから設置してほしい。</p> <p>・建物出入口へのアプローチにおいて、スロープへの誘導ブロックの設置については、車椅子が通行しにくくなる為、通路幅が広ければ設置しても良いが、通常、アプローチ階段への誘導でかまわない。</p> <p>・階段、便所に誘導していないのは何故か？階段にも誘導してほしい。</p> <p>・玄関ホール(昇降口)の誘導ブロックはできるだけまっすぐに通すこと。</p> <p>・1階エレベーターの左右にフロア案内サインと乗降押しボタンがあり、視覚誘導は両方に必要です。誘導が複雑にならないように注意喚起床材は両方をつなげて、誘導床材をその中央位置に一本で結んでください。</p> <p>(点字サイン) ・便所の入り口に男女が解るように、点字サインを設置してほしい。</p> <p>・一般開放する部屋の入り口扉の棒状取っ手に点字シールを貼り、部屋</p>	<p>・ご意見の通り、仮設的に誘導ブロックを設置します。</p> <p>・ご意見の通り、アプローチ階段に誘導します。</p> <p>・誘導ブロックについては、開放エリアへの視覚障害者のアプローチに一番優しい経路に誘導する目的としており、各部屋への誘導は考えておりません。よって、上下階の移動設備(エレベーター等)までの誘導とし、各部屋の案内は、各フロアごとの案内サイン(点字対応)で対応します。 階段室への誘導については、中央階段の仕様が視覚障害者への対応をしていること。また、エレベーターの起動時間が学校の運用によることから、中央階段への誘導を考慮します。</p> <p>・注意喚起用床材と誘導用床材の配置関係をシンプルにして、誘導方向をできるだけ明確にします。</p> <p>・ご意見の通り対応します。</p> <p>・ご意見の通り対応します。</p>

名を表示するということが、取っ手形状が丸いので解読しにくい。取っ手の上か下かどちらか平面に点字シールを貼ってほしい。

< 車椅子使用者用便房について >

・3階、4階の生徒用便所の男女各一箇所ずつに車椅子もアプローチ可能なブースを設けているが、計画図の便器位置では車椅子では使用できない。便器の位置をブースの奥側に移動すればよい。

< 敷地内の通路について >

・屋外スロープを上がりきった部分の奥行き寸法を2m以上確保すること。

・ご意見の通り対応します。

・ご意見の通り対応します。

・ご意見の通り対応します。